MITSUBISHI ELECTRIC

Changes for the Better

三菱電機 汎用 シーケンサ
MELSEC-A/QnA(大形)リニューアルカタログ

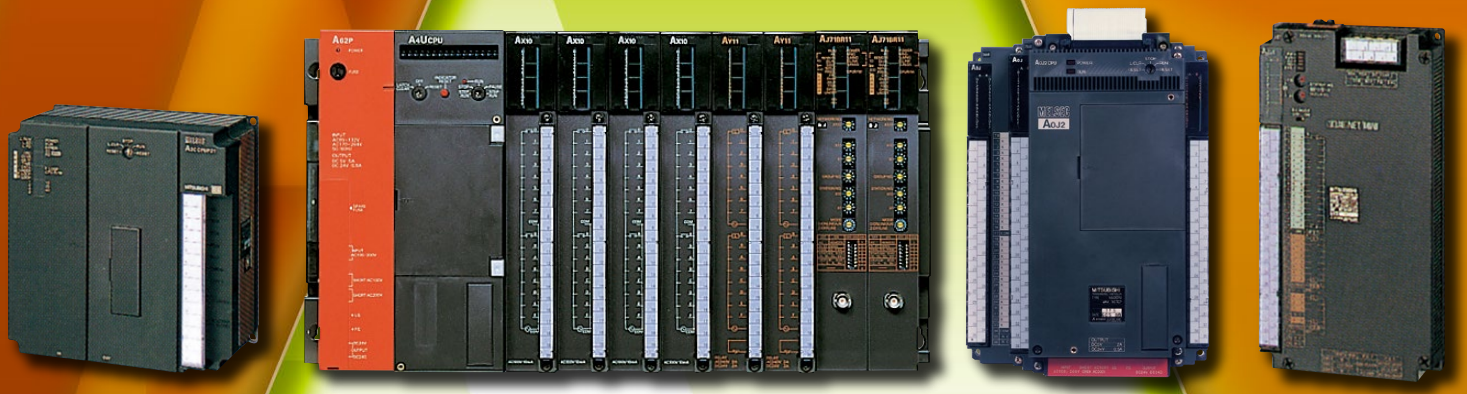
e-F@ctory

MELSEC-A/QnA(大形)シリーズから

MELSEC-Qシリーズへ

A→Q

さまざまなカタチで置換えの強力サポートします!



MELSEC-A/QnA（大形）シリーズから

➡ MELSEC-Qシリーズへ

さまざまな力タチで置換えを強力

置換えのサポートは私たちにお任せください！

安心サポート

A/QnA（大形）シリーズからの置換えサポート

A/QnA（大形）シリーズからの置換えについては、以下までお気軽にお問合せください。

三菱電機FA機器 電話技術相談 窓口

TEL:052-711-5111

【TEL受付時間※1】月曜～金曜 9:00～19:00　土曜･日曜･祝日 9:00～17:00

※1：春季･夏季･年末年始の休日を除く

具体的なシステムの置換えは、最寄りの支社までお問い合わせください。

三菱電機FA機器のあらゆる情報を知り尽くすデータベース

テクニカルニュース･置換えの手引き･Qシリーズへの
置換えサポートツールの情報が手軽に入手できます。

三菱電機FAサイト

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

リニューアルツール／FAグッズについてのお問合せ

三菱電機エンジニアリング株式会社

リニューアルツール（名古屋事業所　技術サポートセンター）

TEL:0568-36-2068　FAX:0568-36-2045

FAグッズ（名古屋事業所　FA技術部）

TEL:052-723-8058　FAX:052-723-8062

MELSEC-A/QnAシリーズのシステムリニューアル

システム検討からソフトウェア変換、現地工事および設備立上げまで全て実施します。

三菱電機システムサービス株式会社

【問合せ先】は次ページをご参照ください。

サポートします!

リニューアルツール

MELSEC-A/QnAシリーズからMELSEC-Qシリーズへ
リニューアルする便利ツール。

- MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
- 入力/出力/アナログ/高速カウンタユニットへの配線時間を大幅に短縮
- シーケンスプログラムの流用が可能

FAグッズ総合カタログ

- 入出力変換ユニット
- アナログユニット用変換ユニット
- ターミナルユニット
- 中継ユニット
- シーケンサ用周辺ケーブル
- アナログ信号変換器
- シーケンサ位置決め用ケーブル
- 高速カウンタ用変換ユニット
- CC-Linkグッズ

技術サポート

▶お電話でのお問合せ

TEL 0568-36-2068

受付/9:00～12:00、13:00～17:00　月曜～金曜
(土・日・祝日、春季・夏季・年末年始の休日を除く)

▶Webでのお問合せ

https://www.mee.co.jp/contact/ssl/php/473/kiyaku.php?fid=473&prod=meefan

受付/365日 24時間
(画像などのデータ授受の場合は、お近くの当社営業所へお問い合わせください)

三菱電機エンジニアリング株式会社FA機器の最新情報を掲載
スマート工場実現に向けトータルソリューションでサポートします

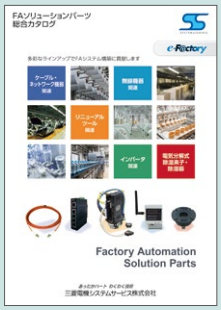
MEEFAN　検索

www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/

営業統括部	TEL.03-3288-1103 FAX.03-3288-1575	中日本営業支社	TEL.052-565-3435 FAX.052-541-2558	中四国支店	TEL.082-248-5390 FAX.082-248-5391
東日本営業支社	TEL.03-3288-1743 FAX.03-3288-1575	西日本営業支社	TEL.06-6347-2926 FAX.06-6347-2983	九州支店	TEL.092-721-2202 FAX.092-721-2109

リニューアル総合カタログ

「MELSEC-A/QnAシリーズの置換えとシステムリニューアル」を、三菱電機システムサービス株式会社がシステム検討からソフトウェア変換、現地工事および設備立上げまで実施いたします。



FAソリューションパーツ総合カタログ

- リニューアル関連(A0J2リニューアルツール)
- 無線機器関連
- インバータ関連
- ケーブル関連

【問合せ先】
三菱電機システムサービス株式会社
≪リニューアル工事のご依頼／A0J2リニューアルツールのご購入≫

北日本支社:022-353-7814	中部支社:052-722-7653<工　事>	北陸支店:076-252-9519
北海道支店:011-890-7515	:052-722-7602<ツール>	中四国支社:082-285-2111
東京機電支社:03-3454-5521<工　事>	関西支社:06-6458-9738<工　事>	四国支店:087-831-3186
:03-3454-5511<ツール>	:06-6454-0281<ツール>	九州支社:092-483-8208

リニューアルするための便利なツール!

安心リニューアル

生産中止と置換えについての情報を知りたい… P. 5
A→Q
→テクニカルニュース
→置換えの手引き

既存のプログラムを流用して、かんたんにQシリーズへ置き換えたい… P. 7
A→Q MELSOFT
→A/QnA→Q変換サポートツール

Qシリーズで32点端子台入出力ユニットを使用したい… P.11
A→Q
→Qラージベース/Qラージ入出力ユニット

既設の配線を変更なしでQシリーズに置き換えたい… P.13
A→Q
→A/Qリニューアルツール/FAグッズ(三菱電機エンジニアリング株式会社製)

置換えを容易にするユニット群… P.15
A→Q
→DC入力ユニット
→入出力混合ユニット
→高速カウンタユニット
→アナログ出力位置決めユニット

既設の通信ケーブルを利用してMELSECNET/Hに置き換えたい… P.16
ネットワーク
→MELSECNET/Hネットワークユニット(ツイストバスタイプ)
→MELSECNET/Hネットワークユニット(光ループタイプ、同軸バスタイプ)

Q4ARCPU二重化システムをQCPU二重化システムに置き換えたい… P.17
→QCPU二重化システム
二重化

MELSECNET/MINI-S3をCC-Linkに置き換えるが、配線はそのまま使いたい… P.18
→A2C形状CC-Linkリモート I/Oユニット
CC-Link

A0J2(H)CPUをQシリーズに置き換えるが、配線はそのまま使いたい… P.19
→A0J2リニューアルツール(三菱電機システムサービス株式会社製)
A→Q

機種一覧 P.21
→置換えサポート機種一覧
→継続生産機種
→生産中止機種
→修理対応期間
サポート

サポート体制を知りたい… P.1、P.26
→インターネットサービス
サポート

本カタログでは、特に明記する場合を除き、以下に示す略称を使って説明します。
A/QnAシリーズ: 三菱電機汎用シーケンサ MELSEC-Aシリーズおよび、MELSEC-QnAシリーズの大形シーケンサの略称
AnS/QnASシリーズ: 三菱電機汎用シーケンサ MELSEC-Aシリーズおよび、MELSEC-QnAシリーズの小形シーケンサの略称
Qシリーズ: 三菱電機シーケンサ MELSEC-Qシリーズのシーケンサの略称

A/QnA（大形）シリーズの生産中止による置換えに関する各種情報を提供します！

テクニカルニュース

		〈生産中止時期〉	〈テクニカルニュース〉
A/QnA（大形）シリーズ			
	●CPUユニット	2006年9月末日	PLC-D-506
	●入出力ユニット	2006年9月末日	PLC-D-506
	●特殊機能ユニット	2006年9月末日	PLC-D-506
	●データリンクユニット（MELSECNET（Ⅱ）、/Bユニットなど）	2006年9月末日	PLC-D-506
	●MELSEC-I/OLINKマスタユニット	2006年9月末日	PLC-D-506
	●MELSECNET/MINI-S3マスタユニット	2008年9月末日	PLC-D-506
	●ネットワークユニット（MELSECNET/10）	2014年9月末日	FA-D-0141
A2Cシリーズ			
A2C	●CPUユニット	2006年9月末日	PLC-D-506
	●A2C I/Oユニット	2008年9月末日	PLC-D-533
	●特殊機能ユニットほか	2008年9月末日	PLC-D-533
パソコン用インタフェースボード			
MELSECNET（Ⅱ）、/B	●MELSECNET（Ⅱ）、/Bインタフェースボード	2008年9月末日	PLC-D-507
A0J2（H）シリーズ			
A0J2（H）	●CPUユニット	2008年9月末日	PLC-D-532
	●電源ユニット	2008年9月末日	PLC-D-532
	●入出力ユニット	2008年9月末日	PLC-D-532
	●特殊機能ユニットほか	2008年9月末日	PLC-D-532
リモートI/Oユニット			
リモートI/Oユニット	●MELSECNET/MINI-S3 入出力ユニット	2008年9月末日	PLC-D-533
	●MELSEC-I/OLINK 入出力ユニット	2014年9月末日	FA-D-0142

上記生産中止製品の修理対応期間につきましては、テクニカルニュース「生産中止製品の修理対応期間のお知らせ（FA-D-0049）」でご確認をお願いします。

ユニット選定、プログラム流用方法など、Qシリーズへの置換え時のサポート情報を提供します。

置換えの手引き

MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き

- ●基本編　L(名)08042
- ●インテリジェント機能ユニット編　L(名)08045

MELSEC-A/QnA(大形)、AnS/QnAS(小形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き

- ●ネットワークユニット編　L(名)08047
- ●通信編　L(名)08049

MELSEC-AOJ2HシリーズからQシリーズへの置換えの手引き

L(名)08056

MELSECNET/MINI-S3、A2C(I/O)からCC-Linkへの置換えの手引き

L(名)08057

MELSEC-I/OLINKからAnyWire DB A20への置換えの手引き

L(名)08249

MELSEC-A/QnA(大形)、AnS/QnAS(小形)リニューアル事例集

L(名)08098

●置換えの手引き、カタログ、事例集に示す製品の置換えに際しましては、該当製品のマニュアルを参照いただき、詳細仕様、使用上の注意事項・制約などを確認の上、置換えを実施いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機エンジニアリング株式会社製品、三菱電機システムサービス株式会社製品およびその他各社製品につきましては、各製品のカタログなどを参照いただき、詳細仕様、使用上の注意事項・制約などを確認の上、使用していただきますようお願いいたします。
弊社製品、三菱電機エンジニアリング株式会社製品、三菱電機システムサービス株式会社製品のマニュアル、カタログは、各「置換えの手引き」の付録に紹介しています。

●本資料に記載している製品につきましては、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

A/QnA→Q変換サポートツール〈無償〉※1

既存プログラムの変換（流用）で自動変換できなかった箇所を抽出! さらに修正方法を表示!

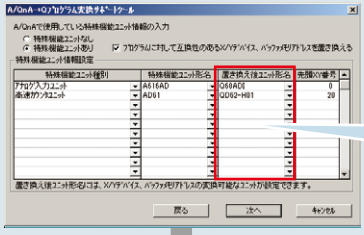
A/QnA→Q変換サポートツール

■A/QnA用ラダープログラムをQシリーズ用に変換
既存プログラムの変換（流用）で自動変換できなかった箇所を抽出、さらに修正方法を表示します。

GX DeveloperのPCタイプ変更で
A/QnAプログラムからQプログラムへ変換

A/QnAプログラム（変換前プロジェクト）→ PCタイプ変更 GX Developer※2 → Qプログラム（PCタイプ変更後プロジェクト）

A/QnAの現状の特殊機能ユニットの構成情報を入力

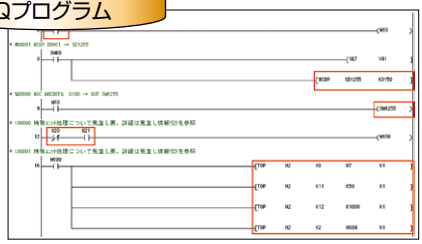


Point 1
●ユニットの形名を指定することで、プログラムに対して互換性のあるX/Yデバイス、バッファメモリアドレスを置換え可能!

A/QnA→Q変換サポートツール

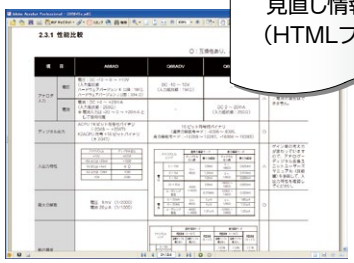
出力
出力実行を行うと、差分情報埋込みQプログラムと見直し情報リストを表示

差分情報埋込みQプログラム



〈P8 1 参照〉

見直し情報リスト（HTMLファイル）



〈P9 2 参照〉

Point 2
●既存プログラムと変更後のプログラムの見比べ不要!

Point 3
●変換できなかった命令、デバイスの一覧表示
●特殊機能ユニットの置換え推奨ユニット情報の表示

※1: ラダープログラムが対象です。ラダープログラム以外はサポートしていません。
AnS/Q2AS(H)→Q変換もサポートしています。
PCタイプ変更後のCPUにユニバーサルモデルQCPUを使用する場合、Ver.1.06以降をお使いください。

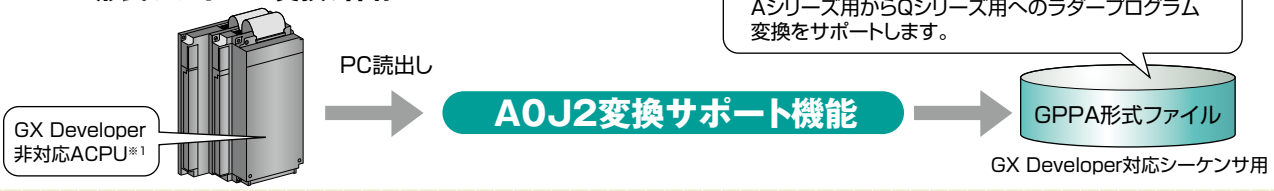
※2: GX Developerでは、ユニバーサルモデル高速タイプQCPUへのPCタイプの変更ができません。
ユニバーサルモデル高速タイプQCPUに置き換える場合は、以下の手順でPCタイプを変更してください。
①GX Developerにて、PCタイプをユニバーサルモデルQCPUに変更してプロジェクトを保存する。
②A/QnA→Q変換サポートツールにて、差分情報埋め込みQプログラムと見直し情報リストを出力する。
③GX Developerにて、見直し情報リストを参考にして、差分情報埋め込みQプログラムを修正する。
④GX Works2にて、差分情報埋め込みQプログラムを開き（プロジェクト - 他形式データを開く - 他形式プロジェクトを開く）、PCタイプをユニバーサルモデル高速タイプQCPUに変更する。

A0J2変換サポート機能

■GX Developer非対応ACPUのラダープログラムをGPPA形式ファイルに変換!

GX Developerに対応していないACPUからラダープログラムを読み出し、GX Developerで対応しているGPPA形式ファイルに変換できます。

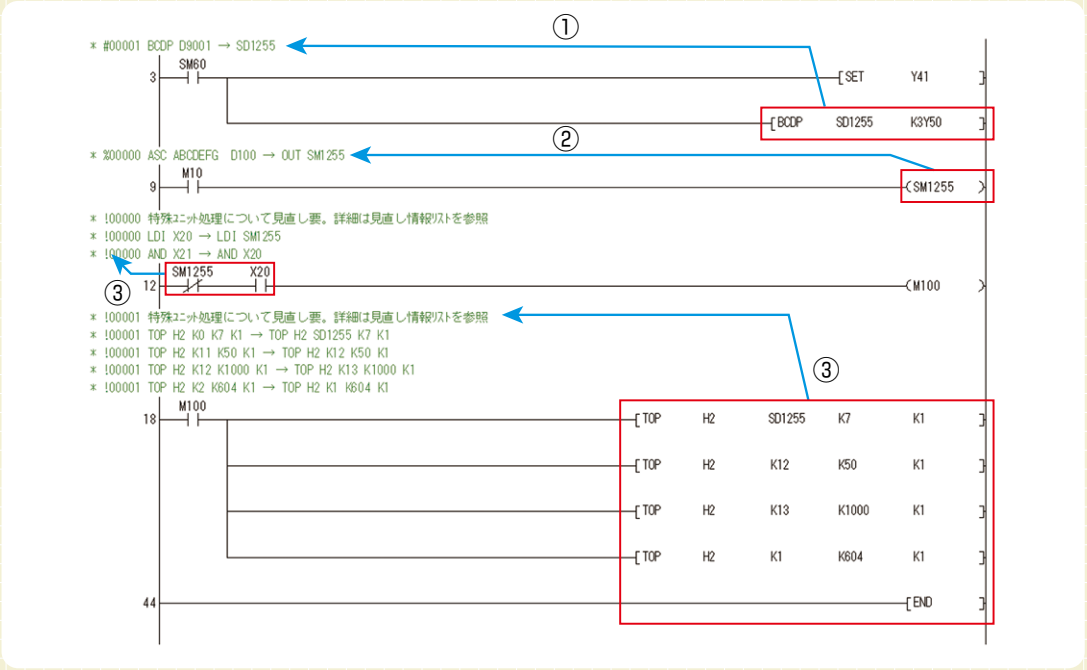
GX Developer非対応ACPUのラダープログラムを GPPA形式ファイルへ変換、保存



※1: A0J2CPU、A1CPU、A2CPU、A52GCPU、A3CPU、A3VCPU、A73CPU、A3HCPU、A3MCPU

1 差分情報埋込みQプログラム例

■差分情報埋込みQプログラムで、直接修正が可能!修正作業時の見落しを防ぎ、作業効率向上が図れます。



〈差分情報埋込みイメージ図〉

①自動変換できなかったデバイスのステートメント表示──#

変換前のデバイスと変換後のデバイスを以下のように表示し、その回路ブロックに含まれるものを1行ずつ表示します。

(例) #00001 BCDP D9001 → SD1255 (#00001は見直し情報リストからの検索キーワードです。)

②自動変換できなかった命令のステートメント表示──%

変換前の命令と変換後の命令を以下のように表示し、その回路ブロックに含まれるものを1行ずつ表示します。

(例) %00000 ASC ABCDEFG D100 → OUT SM1255 (%00000は見直し情報リストからの検索キーワードです。)

③特殊機能ユニットアクセス処理のステートメント表示──!

特殊機能ユニットアクセス命令(FROM、DFRO、TO、DTO、および、X/Yデバイス使用命令)については、見直しが必要であるためのメッセージを表示します。X/Yデバイス、バッファメモリアドレスを置き換えた場合は、置き換え前後の状態を表示します。

(例) !00001 特殊機能ユニット処理について見直し要。詳細は、見直し情報リストを参照。
(!00001は見直し情報リストからの検索キーワードです。)

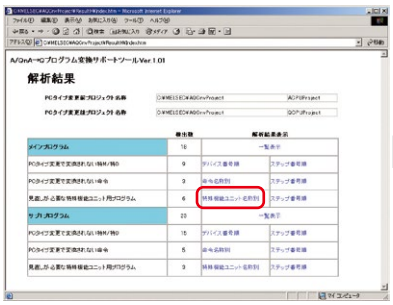
A/QnA→Q変換サポートツール〈無償〉

2 見直し情報リスト

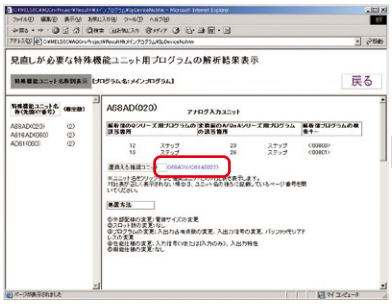
■見直し情報リストから、置換え前と置換え後のユニット性能比較を確認可能!

プログラム修正のためのサポートガイダンスを、Internet Explorer®で階層的に詳細表示します。
また、プログラム中に埋め込まれた差分情報と見直し情報リスト間は、検索により相互リンクできます。

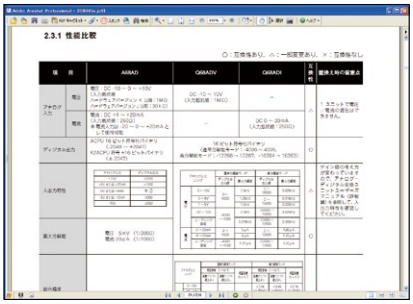
〈例1〉特殊機能ユニット制御処理で変更が必要となる箇所の場合



「見直しが必要な特殊機能ユニット用プログラム」
の「特殊機能ユニット名称順」をクリック



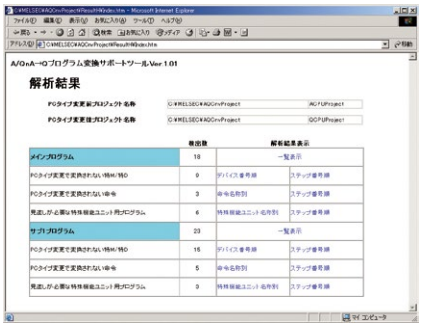
「置換える推奨ユニット」の
“推奨ユニットの名称”をクリック



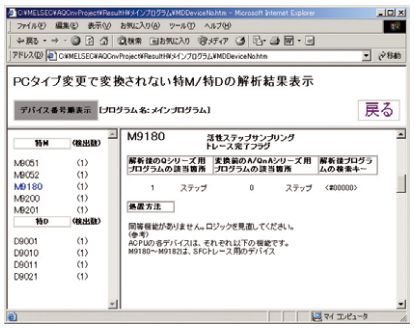
ユニット性能比較を確認できます。

■変換されない特M/特Dの解析結果を表示。修正箇所と修正内容の確認が可能!

〈例2〉Qへ変更されない特M/特D表示



「PCタイプ変更で変換されない特M/特D」
の「デバイス番号順」をクリック



修正内容を確認できます。

A/QnA→Q変換サポートツールの無償ダウンロード方法

[FAトップ] > [ダウンロード] > [制御機器] > [シーケンサ MELSEC] > [MELSEC-A]
> [ソフトウェア] > [A/QnA→Q変換サポートツール - 詳細情報]

テクニカルニュースや置換えの手引きなど、
Qシリーズへの置換えサポートツールの情報が手軽に入手できます。

三菱電機FAサイト

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

ソフトウェアのダウンロードサービスをご利用いただくには、
三菱電機ビジネスメンバーズへのご登録(無料)が必要となります。

A/QnA→Q変換サポートツールの動作環境

詳細は、Web上の「A／QnA→Q変換サポートツール操作手順書」をご参照ください。

●必須ソフト ……GX Developer Ver.8.25B以降※1

※1: GX Works3および、GX Works2の製品パッケージには、GX Developerが同梱されています。
※2: A/QnA→Qプログラム変換サポートツールおよび、MELSECNET(II) ローカル局用リフレッシュプログラム生成ツールにてユニバーサルモデルQCPUを扱う場合は、GX Developer Ver.8.95Z以降
MELSECNET(II)→MELSECNET/10(H)パラメータ変換ツールを使用する場合は、GX Developer Ver.8.101F 以降が対応しています。
Ver.8.95Z以前のGX Developerをお持ちの場合は、三菱電機FAサイトからアップデート版をダウンロードして、最新版(Ver.8.95Z以降)にアップデートできます。

●ブラウザー ……Microsoft®提供 Internet Explorer® Ver.6以降

●PDF閲覧ソフト ……Adobe® Reader® Ver.6以降

モーションコントローラ用A→Q変換サポートツール

モーションコントローラAシリーズのシーケンスプログラムからQシリーズ用シーケンスプログラムへの
変換サポートツールを提供します。

1. 自動変換できなかったモーション専用命令のステートメント表示

2. モーション専用デバイスのステートメント表示

3. SW3RN-LADDERP形式コメントファイルのGX Developer形式への変換

■モーションコントローラ用A/QnA→Q変換サポートツールの入手につきましては、弊社各支社のサーボ担当部門に
お問い合わせいただきますようお願いします。

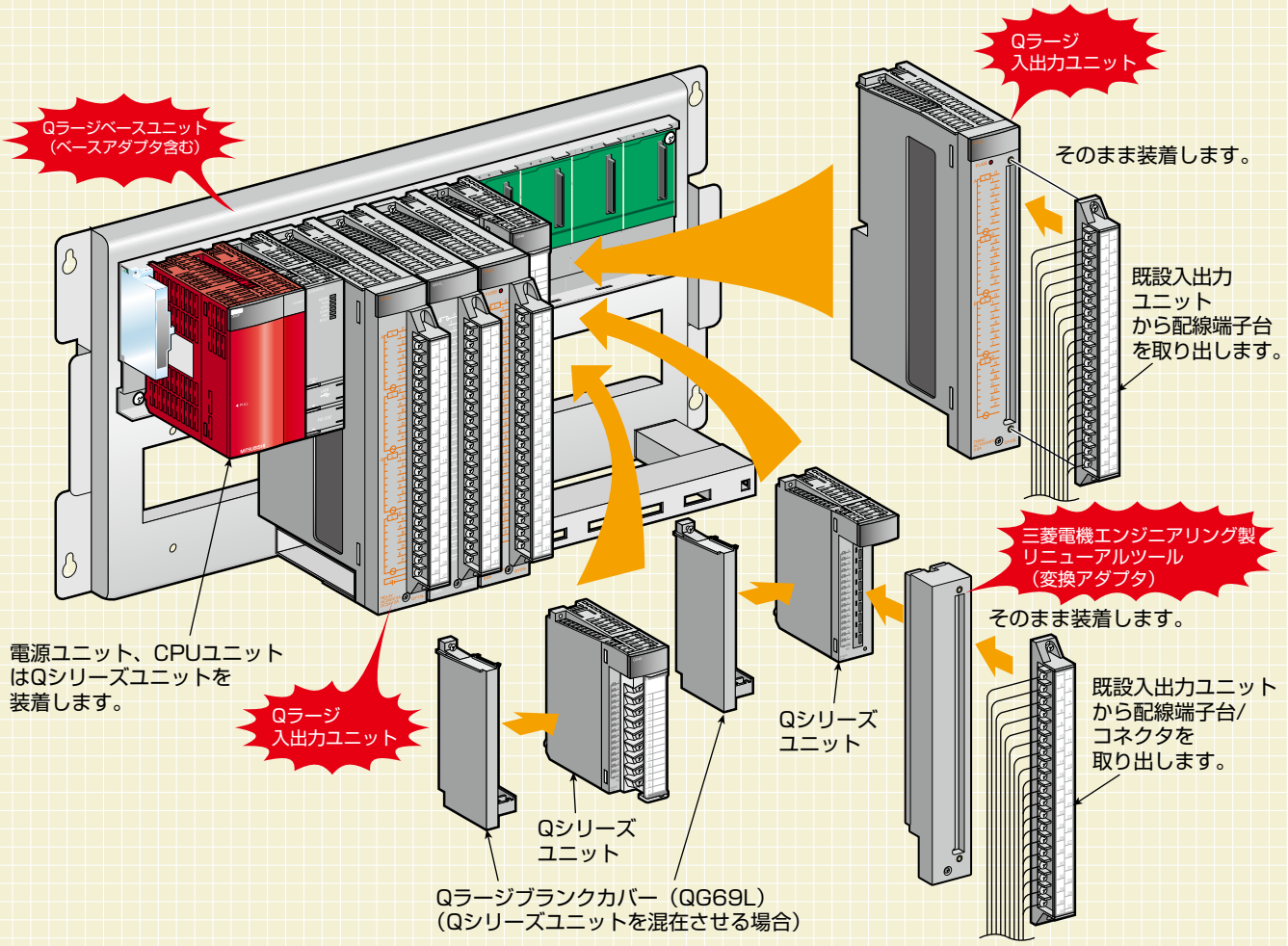
Qラージベース／Qラージ入出力ユニット

（Q38BL・Q35BL・Q68BL・Q65BL・Q55BL・QX11L・QX21L・QY11AL・QY13L・QY23L・QY51PL・QG69L）

32点端子台入出力ユニットを品揃え、既設Aシリーズ入出力

■既設A/QnAシリーズ32点端子台入出力ユニットの配線端子台をそのまま装着することで、配線変更の負担を軽減します。

■Qラージベースの取付け寸法はA/QnAシリーズと同一寸法であり、取付け穴加工は不要です。



・電源ユニット、CPUユニットは、既存Qシリーズユニットをそのまま使用します。（Qラージブランクカバー不要）
・Qラージ入出力ユニットと既存Qシリーズを混在して使用できます。
（2スロット占有ユニットなど、一部装着不可ユニットがあります。詳細はQラージベースユニットユーザーズマニュアル（IB-0800407）をご参照ください。）

ポイント

●リニューアルツール（三菱電機エンジニアリング製 P.13「A/Qリニューアルツール/FAグッズ」参照）をQラージ入出力ユニットと混在することで、Qラージ入出力ユニット対象以外の端子台ユニットも配線変更なしで置換えできます。
●Qラージベースとリニューアルツールの選定については、P.14「Qラージベースユニットとリニューアルツールの選定」をご参照ください。

ユニットの配線をそのままで、Qシリーズに置換え可能!

■Qラージベースユニット

タイプ	形名	仕様
基本ベースユニット	Q38BL	8スロット 電源ユニット装着要 Qラージ入出力ユニット装着可能
	Q35BL	5スロット 電源ユニット装着要 Qラージ入出力ユニット装着可能
増設ベースユニット	Q68BL	8スロット 電源ユニット装着要 Qラージ入出力ユニット装着可能
	Q65BL	5スロット 電源ユニット装着要 Qラージ入出力ユニット装着可能
	Q55BL	5スロット 電源ユニット装着不要 Qラージ入出力ユニット装着可能

■Qラージ入出力ユニット

タイプ	形名		仕様
	既設A(大形)ユニット	Qラージユニット	
入力ユニット	AX11	QX11L	32点　AC100-120V入力　定格入力電流 10mA(AC100V 60Hz) 応答時間 OFF→ON 15ms以下　ON→OFF 25ms以下 32点／1コモン　38点端子台
	AX21	QX21L	32点　AC200-240V入力　定格入力電流 10mA(AC220V 60Hz) 応答時間 OFF→ON 15ms以下　ON→OFF 25ms以下 32点／1コモン　38点端子台
出力ユニット	AY10A AY11A	QY11AL	16点接点出力　DC24V／AC240V　2A／1点　16A／全点 全点独立　38点端子台 サージキラー(バリスタ 387～473V)
	AY13	QY13L	32点接点出力　DC24V／AC240V　2A／1点　5A／1コモン 8点／1コモン　38点端子台
	AY23	QY23L	32点 トライアック出力　AC100-240V　0.6A／1点　2.4A／1コモン 8点／1コモン　38点端子台
	AY51 AY51-S1	QY51PL	32点トランジスタ出力(シンクタイプ)　DC12/24V　0.5A／1点 4A／1コモン　16点／1コモン　38点端子台
Qラージ ブランクカバー	—	QG69L	Qラージベースに既存Qシリーズユニット装着時の隙間調整用

ポイント

●Qラージベース／Qラージ入出力ユニットは、ユニバーサルモデルQCPU※1(ユニバーサルモデル高速タイプQCPUを含む)と
MELSECNET/HリモートI/O局に使用できます。
以下のCPUユニット／構成では使用できません。
・プロセスCPU、二重化CPU、安全CPU
・Q00UJCPU

※1：シリアルNo.上5桁が"13102"以降のユニバーサルモデルQCPUが対応しています。

A/Qリニューアルツール/FAグッズ

（三菱電機エンジニアリング株式会社製）

既設の配線はそのままで、Qシリーズへ置換え可能!

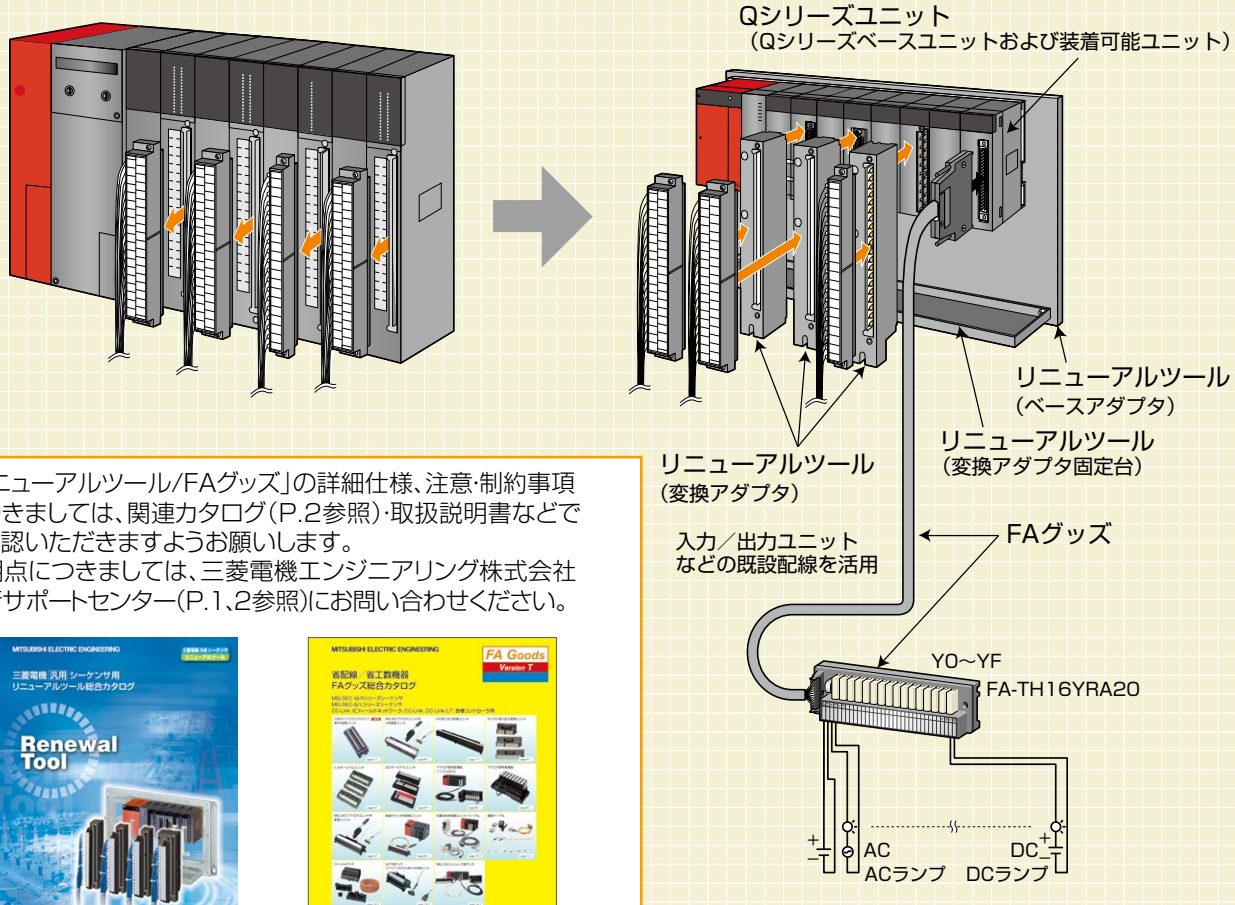
■リニューアルツール

リニューアルツールは、A/QnAシリーズの入力/出力/アナログ/高速カウンタユニットに接続されていた既設配線を置換え後のQシリーズのユニット用に配線を流用するための「変換アダプタ」、変換アダプタの下部を固定するための「変換アダプタ固定台」、A/QnAシリーズベースユニットの取付け穴を流用し、Qシリーズが取付け可能な「ベースアダプタ」から構成されています。（Qシリーズベースユニットはリニューアルツールには含まれていません。別途Qシリーズベースユニットをご用意ください。）

- ●既設A/QnAシリーズシーケンサをベースごと取り外し、既設の取付け穴を利用してリニューアルツール（ベースアダプタ）を取り付け、Qシリーズユニットを装着します。（ベースアダプタにより、取付け穴の再加工が不要です。）
- ●装着されたQシリーズユニットに、リニューアルツール（変換アダプタ）を取り付けます。
- ●既設のA/QnAシリーズのユニットから、配線された端子台/コネクタを取り外して変換アダプタに装着します。（配線をそのまま活用できます。）
- ●Qシリーズにない入出力ユニットなどの場合、FAグッズを使用できます。

■FAグッズ

システム構築を容易でかつ安価に実現するための製品です。コネクタ／端子台変換ユニット、ターミナルユニット、シーケンサ位置決め用ケーブルなどが品揃えされています。
ユニットの仕様などにより、ユニット単体での置換えが困難な場合は、外部にFAグッズを活用することで、システムの置換えが容易になります。



A/QnAシリーズ入出力ユニットをQシリーズ入出力ユニットに置き換える場合、FAグッズの変換ユニットや、ターミナルユニットも活用できます。

「リニューアルツール/FAグッズ」の詳細仕様、注意･制約事項につきましては、関連カタログ（P.2参照）･取扱説明書などでご確認いただきますようお願いします。
不明点につきましては、三菱電機エンジニアリング株式会社技術サポートセンター（P.1、2参照）にお問い合わせください。

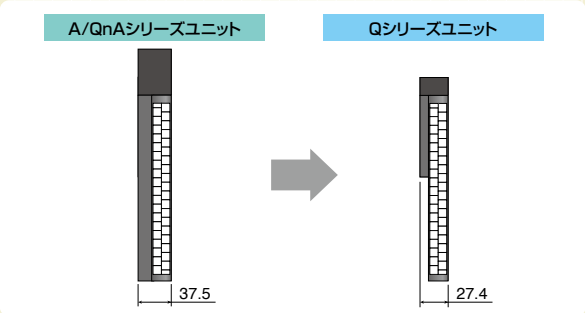
Qラージベースユニットとリニューアルツールの選定

■Qラージベースユニットとベースアダプタ・変換アダプタの選定ポイント

項　目			Qラージベースユニット※1	ベースアダプタ・変換アダプタ※2
ベースユニットのスロット幅※3			A/QnAシリーズベースユニットと同一幅（37.5mm）	Qシリーズベースユニットと同一幅（27.4mm）※3
装着可能ユニット	電源ユニット	Qシリーズ電源ユニット	○	○
	CPUユニット	プロセスCPU	×	○
		ユニバーサルモデルQCPU	○※4	○
	・入出力ユニット ・インテリジェント機能ユニット	Qラージ入出力ユニット※5	○	×
		Qシリーズ1スロットユニット	○※6	○
		Qシリーズ2スロット占有ユニット	×	○
変換アダプタ※7	端子台タイプ16点入出力ユニット用（1スロットタイプ）		○※6	○
	端子台タイプ32点入出力ユニット用（1スロットタイプ）		○※6	△※9
	端子台タイプ32点入出力ユニット用（2スロットタイプ）		×	△※10
	高速カウンタユニット用		○※6	△※9
	アナログユニット用（1スロットタイプ）		○※6	△※9
	アナログユニット用（2スロットタイプ）		×	△※10
Q/QA/QA1S増設ベースユニットの接続※8			○	○

○：使用可（装着可）　△：制約付きで使用可（装着可）　×：使用不可（装着不可）

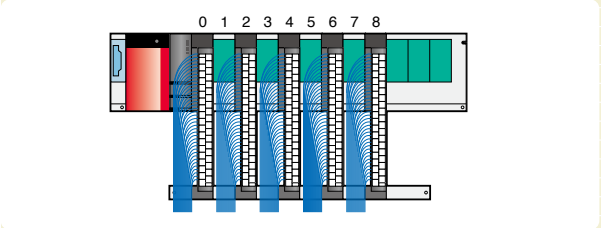
※1: Qラージベースユニット、Qシリーズベースユニットは、混在使用が可能です。
※2: 三菱電機エンジニアリング製ベースアダプタには、Qシリーズベースユニットを取り付けます。
※3: リニューアルツールの場合、ユニット幅寸法が小さくなり配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。



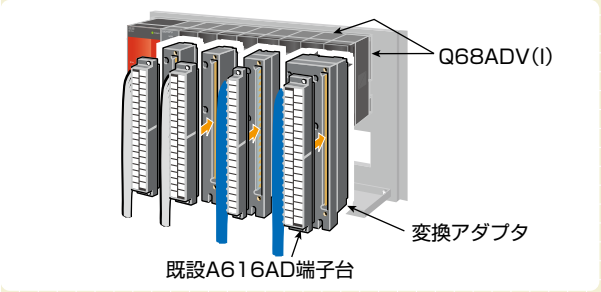
※4: Q00UJCPUは使用不可です。
※5: コモン点数や電気的仕様などがA（大形）タイプ入出力ユニットと同一です。
※6: Qラージブランクカバー（QG69L）が必要です。
本体寸法の高さが98mm を超えるユニットなど、一部装着不可ユニットがあります。詳細はQ ラージブランクカバーユーザーズマニュアル（IB-0800407）をご参照ください。
※7: Qシリーズユニットに装着するため、Qシリーズユニットの性能仕様・機能となります。
（A（大形）シリーズと異なりますので、置換え手引きなどで性能仕様・機能の確認をお願いします。）
※8: QA/QA1S増設ベースユニットには、ユニバーサルモデルQCPU注1（ユニバーサルモデル高速タイプQCPUを含む）を装着できます。

注1:シリアルNo.上5桁が"13102"以降のユニバーサルモデルQCPUが対応しています。

※9: 端子台に配線された銅線サイズが1.25mm²以上の場合、ERNT-AQTX41／AQTY41／AQTX81／AQTY81／AQT68AD／AQT68ADN／AQT68DA／AQTD61の使用が困難な場合があります。
その際は、1スロットおきに装着する（例えば、0・2・4・6・8スロットに装着し、1・3・5・7スロットは空き）などにより、配線領域を確保する考慮が必要です。
スロットを空けることで必要スロット数が不足する場合は、Qラージベースの活用をご検討ください。



※10: Qシリーズユニット2台を使用し、変換アダプタにより既設配線端子台を流用する場合。
例:A616AD置換え時にQ68ADV(I)を2台使用



置換えを容易にするユニット群

置換えを容易にするユニットを品揃え

■DC入力ユニット

定格入力電流6mAのDC入力ユニットです。
A/QnAシリーズから置換え時などに外部接続機器をそのまま流用したとき、Qシリーズ従来ユニットでは定格入力電流不足により近接センサなどからの信号を取り込めないことがあり、外部に抵抗の取付けが必要です。
定格入力電流が6mAのQX41-S2とQX81-S2は、外部抵抗の取付けは不要です。(置換え時、既設外部機器の継続使用可)

主なA/QnAシリーズユニットとQシリーズ QX41-S2、QX81-S2との比較

項目		仕様			
		A/QnAシリーズ機種		Qシリーズ機種	
形名	プラスコモンタイプ	AX41	AX42	QX41-S2※1	QX41
	マイナスコモンタイプ	AX81	AX82	QX81-S2※1	QX81
入力点数		32	64	32	32
定格入力電流	DC24V時	約10mA	約7mA	約6mA	約4mA
	DC12V時	約4mA	約3mA	(使用不可)	(使用不可)

※1:ピン配列は、従来のコネクタタイプのA/QnAシリーズユニットと同一です。
なお、A/QnAシリーズ32点端子台ユニットからの置換え時は、三菱電機エンジニアリング製変換アダプタが活用できます。

■入出力混合ユニット※入出力番号が連番のユニット

入出力番号の割付けが、A/QnAシリーズ入出力混合ユニットのAH42と同一のユニットです。
またAOJ2(H)CPUからの置換え時に、AOJ2リニューアルツール(三菱電機システムサービス製 P.19「AOJ2リニューアルツール」参照)を活用する場合のシーケンサ側入出力ユニットとして使用できます。
AH42、AOJ2(H)CPUからの置換え時にプログラム変更が不要です。(プログラム流用時の修正・変更を軽減)

・QH42Pの場合

	入力(X)	出力(Y)	
00 1F	X00 ~ X1F	Y00 ~ Y1F	32点

入力と出力で同一の入出力番号を使用するタイプ

・AH42、QX41Y41Pの場合

	入力(X)	出力(Y)	
00 1F	X00 ~ X1F	アキ	32点
20 3F	アキ	Y20 ~ Y3F	32点

入力と出力の入出力番号を連番で使用するタイプ

■高速カウンタユニット

A/QnAシリーズ高速カウンタユニット(AD61・AD61S1)の置換え用で、入力フィルタ方式と計数速度が同一のユニットです。
既設エンコーダなどパルス発生機器の仕様を意識することなく置換えできます。

計数速度切換設定	A/QnAシリーズ機種	Qシリーズ置換え機種
50KPPS時	AD61	QD62-H01
10KPPS時	AD61S1	QD62-H02

■アナログ出力位置決めユニット

高分解能エンコーダを使用したサーボモータ制御を実現、従来比10倍の最大入力パルス1Mppsに対応しています。サーボアンプなど既設外部機器はそのままで、位置決めユニットを置換えできます。

位置決めモード	A/QnAシリーズ機種	Qシリーズ置換え機種
位置制御モード	AD70	QD73A1
速度・位置制御切換モード		

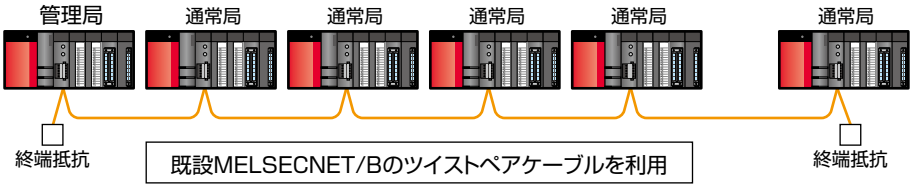
注1:置換え前のユニットと置換え後のユニットで占有点数が異なる場合があります。
占有点数が異なる場合は、装着するユニットの入出力信号の先頭番号を置換え前のユニットと同じ番号に設定することにより、置換え前のプログラムが流用できます。

MELSECNET/Hネットワークユニット

既設の配線はそのままで、
QシリーズMELSECNET/H（10）システムへ置換え可能!

■MELSECNET/Hネットワークユニット（ツイストバスタイプ）

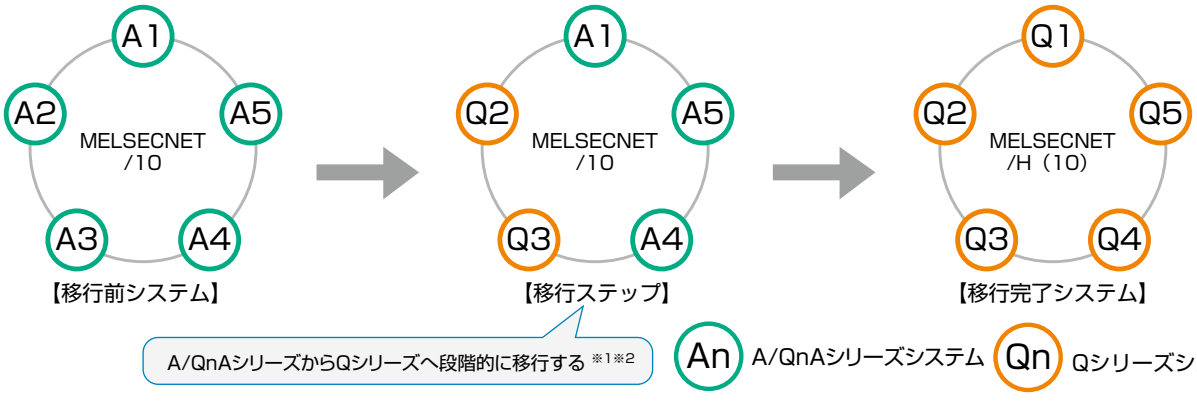
A/QnAシリーズ（MELSECNET/B）からQシリーズへ置換え時、既設MELSECNET/Bのツイストペアケーブルを利用してMELSECNET/Hネットワークシステムを構築できます。これにより、ネットワークケーブルの敷設変更なしで置換えができます。
さらに、既設のツイストペアケーブルをCC-Linkケーブルに置き換えることで、より高速なネットワークシステムを構築できます。



形名	仕様
QJ71NT11B	MELSECNET/Hネットワークユニット（ツイストバスタイプ）

■MELSECNET/Hネットワークユニット（光ループタイプ、同軸バスタイプ）

既設のMELSECNET/10システム（光ループタイプ、同軸バスタイプ）のA/QnAシリーズをQシリーズへ段階的に置き換えられます。※1
PC間ネット、リモートI/Oネットとも、既設のA/QnAシリーズを順次Qシリーズへ置き換えていただくことにより、Qシリーズへの移行が完了できます。※1



●PC間ネット用・リモートI/Oネット用

A/QnAシリーズ機種	Qシリーズ置換え機種
AJ71LP21 AJ71QLP21	QJ71LP21-25 ※2
AJ71LP21G AJ71QLP21G	QJ71LP21G ※2
AJ71QLP21S	QJ71LP21S-25 ※2
AJ71BR11 AJ71QBR11 AJ71LR21 ※1 AJ71QLR21 ※1	QJ71BR11 ※2

●リモートI/Oネット用

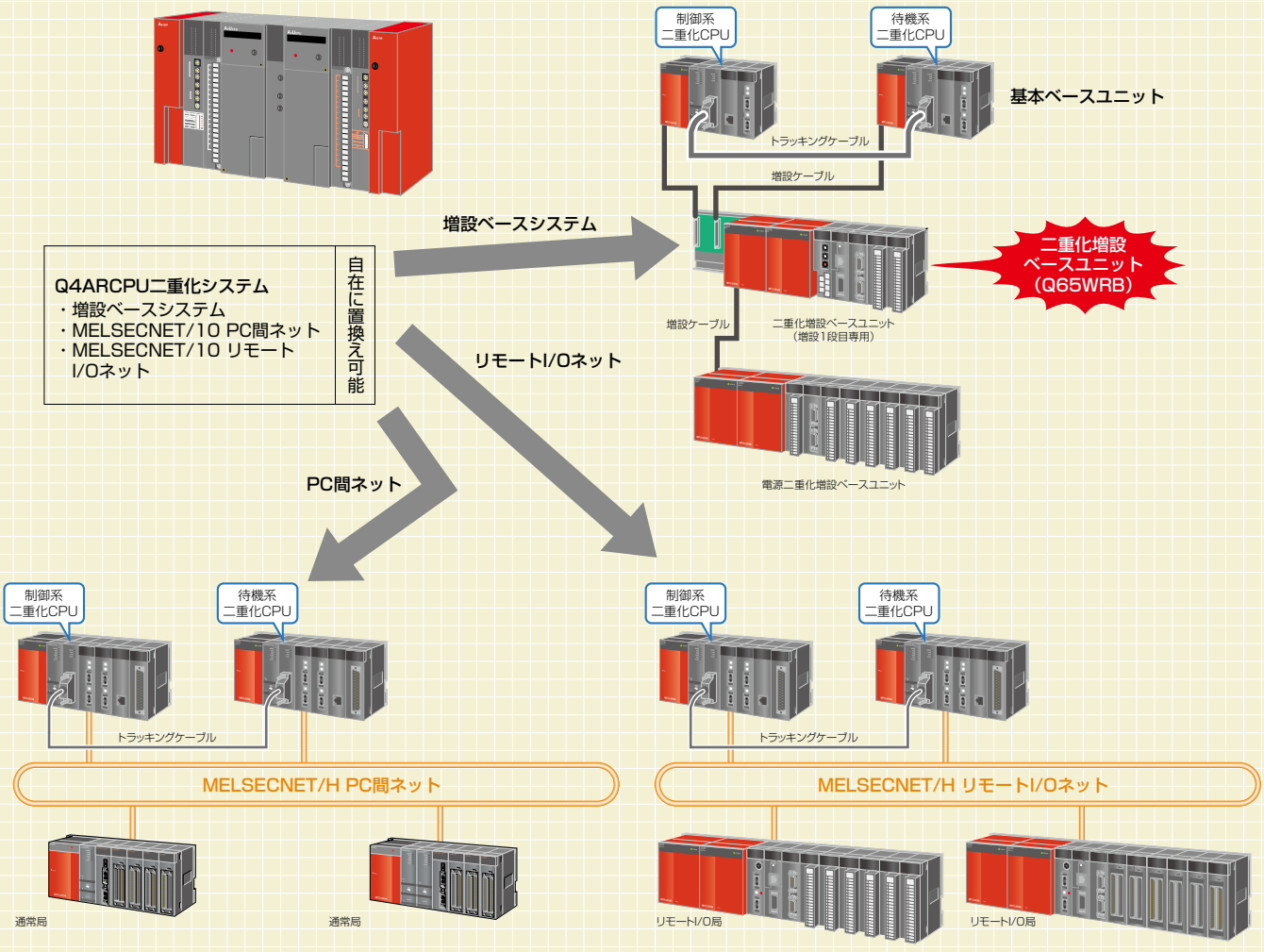
A/QnAシリーズ機種	Qシリーズ置換え機種
AJ72LP25 AJ72QLP25	QJ72LP25-25 ※3
AJ72LP25G AJ72QLP25G	QJ72LP25G ※3
AJ72BR15 AJ72QBR15 AJ72LR25 ※1 AJ72QLR25 ※1	QJ72BR15 ※3

※1：QシリーズはMELSECNET/10同軸ループシステムに対応していないため、同軸ループタイプのMELSECNET/10システムはQシリーズに段階的に置き換えできません。
同軸ループシステムから同軸バスシステム（または、光ループシステム、ツイストバスシステム）へ一括で置き換えてください。
※2：Qシリーズのリモート I/Oネットマスタ局はA/QnAシリーズのリモートI/O局に対応していません。
A/QnAシリーズのリモートI/O局を全てQシリーズに置き換えてから、A/QnAシリーズのマスタ局をQシリーズに置き換えてください。
※3：A/QnAシリーズとQシリーズを混在する場合は、シリアルNo.上5桁“15012”以降の製品を使用してください。

QCPU二重化システム

増設ベースユニットの品揃えで、QCPU二重化システムの構築バリエーションが拡大!

■既設Q4ARCPU二重化システムからQCPU二重化システムへの置換えが容易になります。



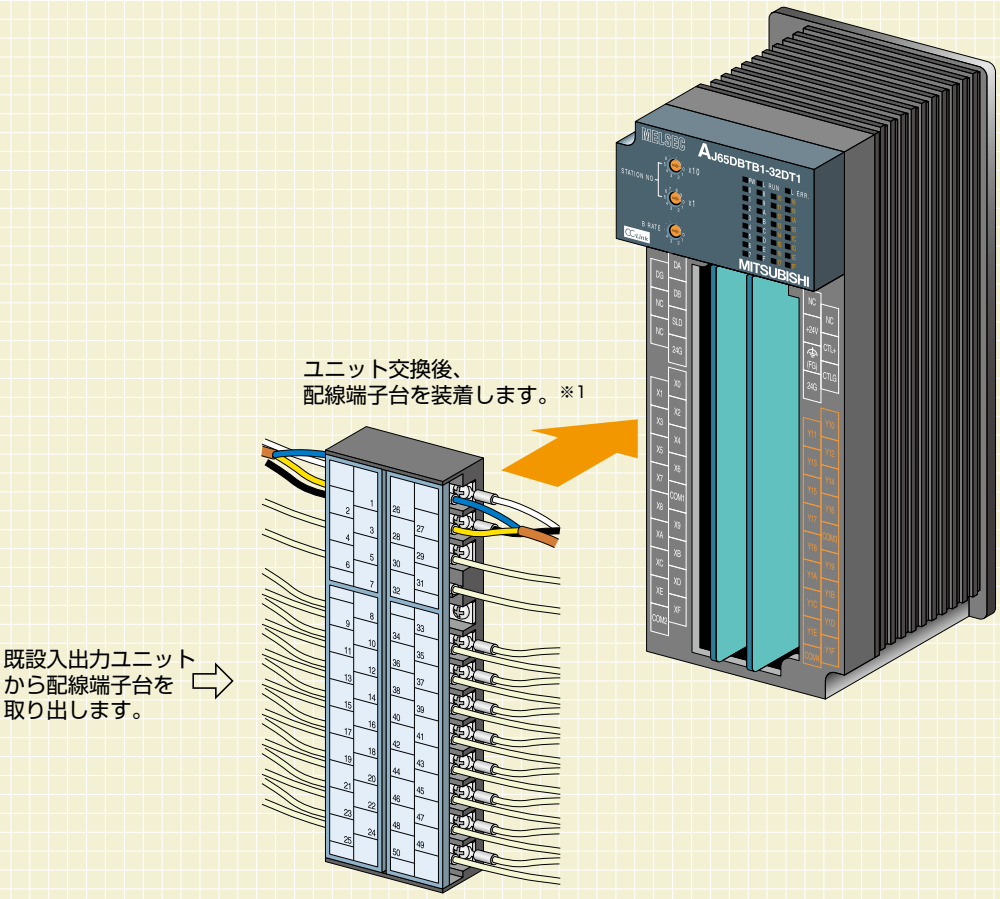
■Qシリーズ二重化CPUの基本ベースユニット上に、MELSECNET/HのPC間ネットとリモートI/Oネットのネットワークユニットを装着できます。(混在可能)
制御対象に合わせて、自在にシステムが構築できます。

■二重化増設ベースユニットにより、Q4ARCPU二重化システムと同様の増設ベースシステムが構築できます。
■電源二重化用増設ベースユニットにより、最大63スロットのユニット装着が可能です。
■系切替え時間は約50msであり、Q4ARCPU二重化システムの300ms+1スキャンから大幅短縮が可能です。

A2C形状CC-LinkリモートI/Oユニット

既設のA2CCPU、MELSECNET/MINI-S3入出力ユニットを、そのままCC-Linkユニットに置換え可能!

■A2C入出力ユニットと同一形状(同一取付け寸法)のため、取付け穴加工が不要です。
既設ユニットの配線端子台をそのままCC-Linkユニットへ装着することで、ユニット交換時の配線変更の負担を軽減します。



※1:通信線、電源線は、配線変更が必要です。

生産中止機種	置換え機種	
	形名	ユニット仕様
AX41C AX81C	AJ65DBTB1-32D	端子台形　DC24V入力　32点　プラスコモン／マイナスコモン共用タイプ
AY51C	AJ65DBTB1-32T1	端子台形　0.5Aトランジスタ出力　32点　シンクタイプ
AX40Y50C	AJ65DBTB1-32DT1	端子台形　DC24V入力　16点　プラスコモンタイプ 0.5Aトランジスタ出力　16点　シンクタイプ
AY13C	AJ65DBTB1-32R	端子台形　リレー出力　32点
AX40Y10C AX80Y10C	AJ65DBTB1-32DR	端子台形　DC24V入力　16点　プラスコモン／マイナスコモン共用タイプ リレー出力　16点

A0J2リニューアルツール

（三菱電機システムサービス株式会社製）

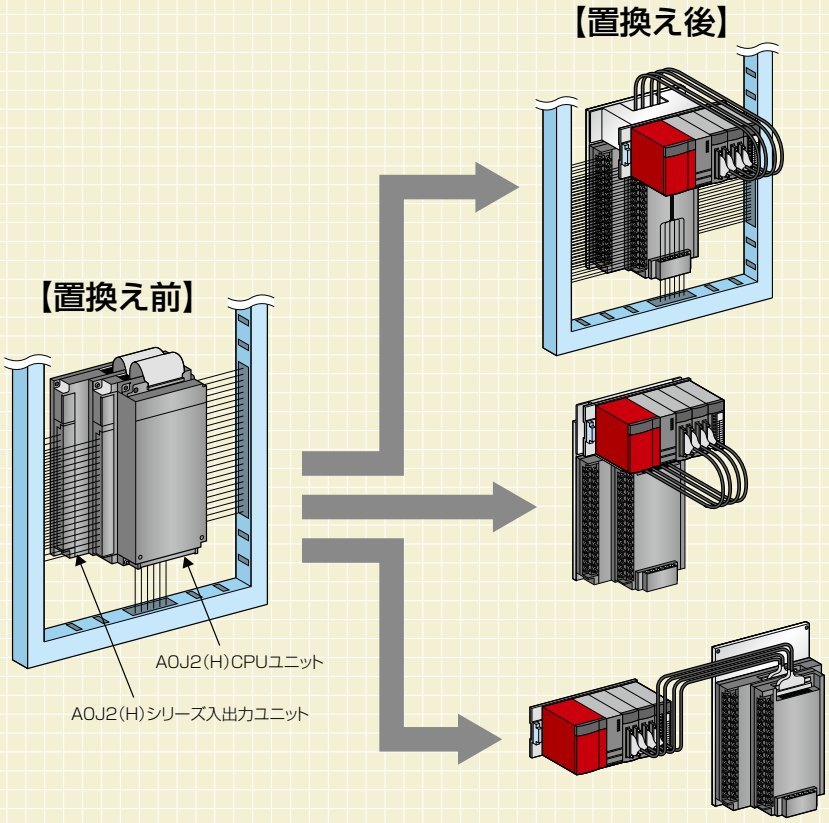
既設の配線はそのままで、A0J2（H）システムをQシリーズへ置換え可能!

■A0J2リニューアルツールとは

A0J2（H）シリーズをQシリーズへ置き換えるためのツールです。既設ユニットの配線端子台をそのまま装着できるインタフェースユニットと既設取付け穴を活用するためのベースアダプタなどで構成されます。
複数の取付け方法があり、設置スペースに合わせた取付けができます。

■インタフェースユニットとは

Qシリーズの入出力ユニットと組み合わせるためのインタフェースユニットです。
DC出力からリレー出力の変換機能やAC入力からDC入力の変換機能を持つインタフェースユニットとQシリーズコネクタタイプのDC入力/出力ユニットと組み合わせられます。
インタフェースユニットからQシリーズ入出力ユニットまでの配線は専用接続ケーブルで接続します。



《積上げタイプ》
既設ユニット手前に奥行きの空きスペースがある場合、シーケンサを積み上げて、既設の盤設置面にそのまま取付けできます。

注：奥行き寸法が236mm以上必要です。（インタフェースユニット2段時）

《平置きタイプ》
既設ユニット上部に空きスペースがある場合、シーケンサを平置きで設置できます。

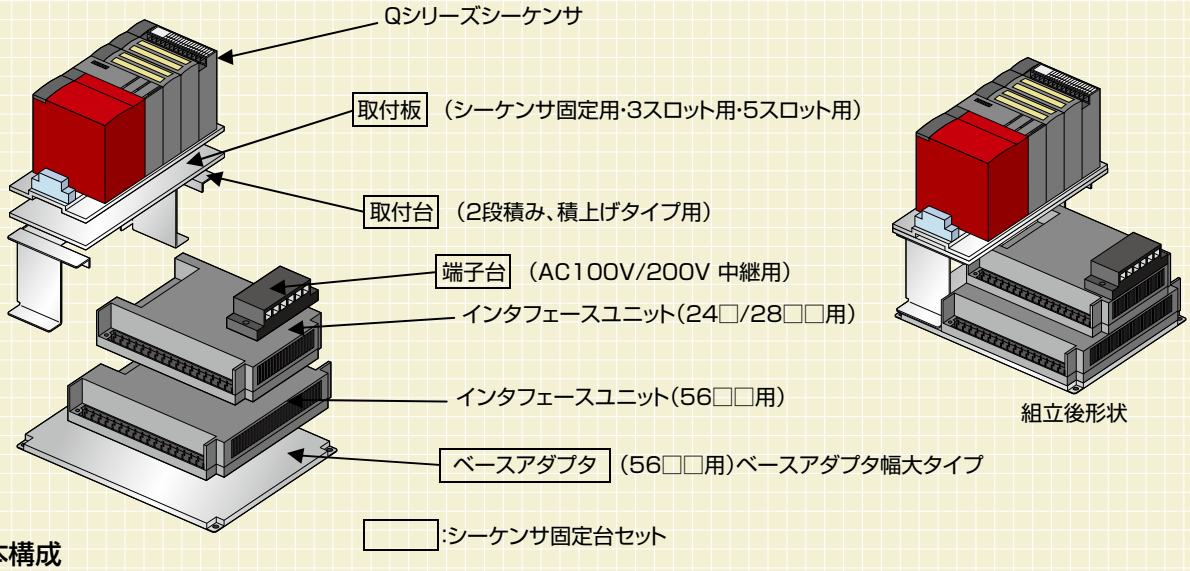
注：現状取付け寸法に比べ、上部に92mm以上の空きスペースが必要です。

《別置きタイプ》
シーケンサのみ別置きできます。

「A0J2リニューアルツール」の詳細仕様、注意･制約事項につきましては、関連カタログ（P.2参照）･取扱説明書などでご確認いただきますようお願いします。
不明点につきましては、三菱電機システムサービス株式会社（P.2参照）にお問い合わせください。

■構　造　(例)2段積み、積上げタイプ

以下部材にて構成されています。



■基本構成

【置換え前】

A0J2(H)シリーズシーケンサ
・CPUユニット ・I/O ユニット

【置換え後】

Qシリーズシーケンサ		A0J2リニューアルツール※2
・基本ベースユニット(Q33B) ・電源ユニット(Q62P)※1 ・CPUユニット ・I/O ユニット	＋	・インタフェースユニット ・シーケンサ固定台セット※3 ・シーケンサ接続ケーブル

※1：インタフェースユニットは、一部機種を除きDC24V 電源が必要です。Q62P を選択されない場合は、別途外部電源をご用意ください。
※2：A0J2リニューアルツールは、使用するインタフェースユニットに対して以下の表に示す機種に対応しています。
※3：シーケンサ固定台セットは、「ベースアダプタ」、「取付台」、「取付板」、「端子台」、「電源用ケーブル」の構成です。

生産中止機種		置換え用インタフェースユニット	生産中止機種		置換え用インタフェースユニット
入力ユニット	A0J2-E32A	SC-A0JQIF-32A	入出力ユニット	A0J2-E28DS	SC-A0JQIF-28DS
	A0J2-E32D	SC-A0JQIF-32D		A0J2-E28DT	SC-A0JQIF-28DT
出力ユニット	A0J2-E24R	SC-A0JQIF-24R		A0J2-E56AR	SC-A0JQIF-56AR
	A0J2-E24S	SC-A0JQIF-24S		A0J2-E56AS	SC-A0JQIF-56AS
	A0J2-E24T	SC-A0JQIF-24T		A0J2-E56DR	SC-A0JQIF-56DR
入出力ユニット	A0J2-E28AR	SC-A0JQIF-28AR		A0J2-E56DS	SC-A0JQIF-56DS
	A0J2-E28AS	SC-A0JQIF-28AS		A0J2-E56DT	SC-A0JQIF-56DT
	A0J2-E28DR	SC-A0JQIF-28DR			

①Qシリーズに置換えの場合は、入出力混合ユニット「QX41Y41P(前半:入力32点、後半:出力32点)」を選定することで、プログラムを変更せず、置換えできます。(P.15「置換えを容易にするユニット群」参照)
②A0J2リニューアルツールは、MELSECNET/MINIコンパクトタイプ入出力ユニット(AJ35PTF-□(28AR、56DRなど))をCC-Linkに置換える時にも使用できます。
③シーケンサ接続ケーブルなど、記載以外の製品につきましては「三菱電機システムサービス株式会社」にお問い合わせ、ご相談ください。

機種一覧

置換えサポート機種一覧

以下価格に消費税は含まれておりません。

増設ベースユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
QA(1S)増設ベースユニット	QA1S51B	1スロット　AnSシリーズユニット装着用(電源無しタイプ)	20,000
	QA1S65B	5スロット　AnSシリーズユニット装着用	23,000
	QA1S68B	8スロット　AnSシリーズユニット装着用	33,000

Qラージベースユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
基本ベースユニット	Q38BL	8スロット 電源ユニット装着要　Qラージ入出力ユニット装着可能	46,000
	Q35BL	5スロット 電源ユニット装着要　Qラージ入出力ユニット装着可能	34,000
増設ベースユニット	Q68BL	8スロット 電源ユニット装着要　Qラージ入出力ユニット装着可能	55,000
	Q65BL	5スロット 電源ユニット装着要　Qラージ入出力ユニット装着可能	38,000
	Q55BL	5スロット 電源ユニット装着不要　Qラージ入出力ユニット装着可能	34,000

Qラージ入出力ユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
入力ユニット	QX11L	32点　AC100-120V　定格入力電流 10mA(AC100V 60Hz) 応答時間 OFF→ON 15ms以下　ON→OFF 25ms以下 32点／1コモン　38点端子台	68,000
	QX21L	32点　AC200-240V　定格入力電流 10mA(AC220V 60Hz) 応答時間 OFF→ON 15ms以下　ON→OFF 25ms以下 32点／1コモン　38点端子台	78,000
出力ユニット	QY11AL	16点接点出力　DC24V／AC240V　2A／1点　16A／全点 全点独立　38点端子台	52,000
	QY13L	32点接点出力　DC24V／AC240V　2A／1点　5A／1コモン 8点／1コモン　38点端子台	76,000
	QY23L	32点トライアック出力　AC100-240V　0.6A／1点　2.4A／1コモン 8点／1コモン　38点端子台	95,000
	QY51PL	32点トランジスタ出力(シンクタイプ)　DC12/24V　0.5A／1点　4A／1コモン 16点／1コモン　38点端子台	61,000
Qラージブランクカバー	QG69L	Qラージベースに既存Qシリーズユニット装着時の隙間調整用	2,000

DC入力ユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
DC入力ユニット	QX41-S2	32点　DC24V　定格入力電流 約6mA　プラスコモンタイプ　32点／1コモン 応答時間　OFF→ON　ON→OFF: 1ms/5ms/10ms/20ms/70ms以下 (いずれもCPUのパラメータで設定、初期設定は10ms)	33,000
	QX81-S2	32点　DC24V　定格入力電流 約6mA　マイナスコモンタイプ　32点／1コモン 応答時間　OFF→ON　ON→OFF: 1ms/5ms/10ms/20ms/70ms以下 (いずれもCPUのパラメータで設定、初期設定は10ms)	41,000

入出力混合ユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
入出力混合ユニット	QX41Y41P	入力仕様（プラスコモンタイプ） 32点　DC24V　32点／1コモン 応答時間　OFF→ON　ON→OFF：1ms/5ms/10ms/20ms/70ms以下 （いずれもCPUのパラメータで設定、初期設定は10ms） 出力仕様（シンクタイプ） 32点　DC12-24V　0.1A／1点　2A／1コモン 応答時間　OFF→ON　1ms以下　ON→OFF：1ms以下（定格負荷、抵抗負荷） 入出力占有点数　64点（前半32点：入力、後半32点：出力）	53,000

高速カウンタユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
高速カウンタユニット	QD62-H01	AD61と入力フィルタ方式･計数速度が同一の置換え用高速カウンタユニット	75,000
	QD62-H02	AD61S1と入力フィルタ方式･計数速度が同一の置換え用高速カウンタユニット	75,000

アナログ出力位置決めユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
アナログ出力位置決めユニット	QD73A1	1軸アナログ出力タイプ 位置制御モード(位置決め制御･2速台形位置決め制御) 速度･位置制御切換えモード	95,000

MELSECNET/Hネットワークユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
MELSECNET/H ツイストバスタイプ ネットワークユニット	QJ71NT11B	MELSECNET/H ツイストペアケーブル 一重バス 管理局／通常局用	100,000

機種一覧

A2C形状CC-Linkリモート I/Oユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
CC-Linkリモート I/Oユニット (ネジ・2ピース端子台 防塵タイプ)	AJ65DBTB1-32D	入力32点:DC24V(プラスコモン／マイナスコモン共用タイプ)1線式　端子台タイプ　応答時間10ms	48,000
	AJ65DBTB1-32T1	出力32点:DC12/24V(0.5A)トランジスタ出力(シンクタイプ)1線式　端子台タイプ(低漏れ電流タイプ)	52,000
	AJ65DBTB1-32DT1	入力16点:DC24V(プラスコモン)1線式　高速応答　応答時間10ms 出力16点:DC24V(0.5A)トランジスタ出力(シンクタイプ)1線式　端子台タイプ(低漏れ電流タイプ)	50,000
	AJ65DBTB1-32R	出力32点:DC24V/AC240V(2A)リレー出力1線式　端子台タイプ	65,000
	AJ65DBTB1-32DR	入力16点:DC24V(プラスコモン／マイナスコモン共用タイプ)　応答時間10ms 出力16点:DC24V/AC240V(2A)リレー出力1線式　端子台タイプ	57,000

継続生産機種

以下価格に消費税は含まれておりません。

2006年9月末日に生産中止させていただきましたA/QnA(大形)シリーズのうち、以下のユニットは継続生産しております。

注 : 継続生産するにあたり、形名を変更する場合があります。

電源ユニット

タイプ	形名	標準価格(円)
電源ユニット	A61PN ※1	38,000
	A61RP	100,000

上記以外の電源ユニットをお使いの場合は、上記2機種へ置き換えることをご検討ください。
※1:A61P、A61PEU、A61P-ULの3機種を統合して、"A61PN"として供給します。

バッテリー

タイプ	形名	標準価格(円)
バッテリー	A6BAT	4,000

MELSEC-A/QnA(大形)シリーズは、一部の機種のみに限定し継続生産をしておりますが、2010年7月31日をもちまして
EN61131-2:2003年版の失効により、継続生産機種のCE宣言を取り下げました。(テクニカルニュース FA-D-0071参照)

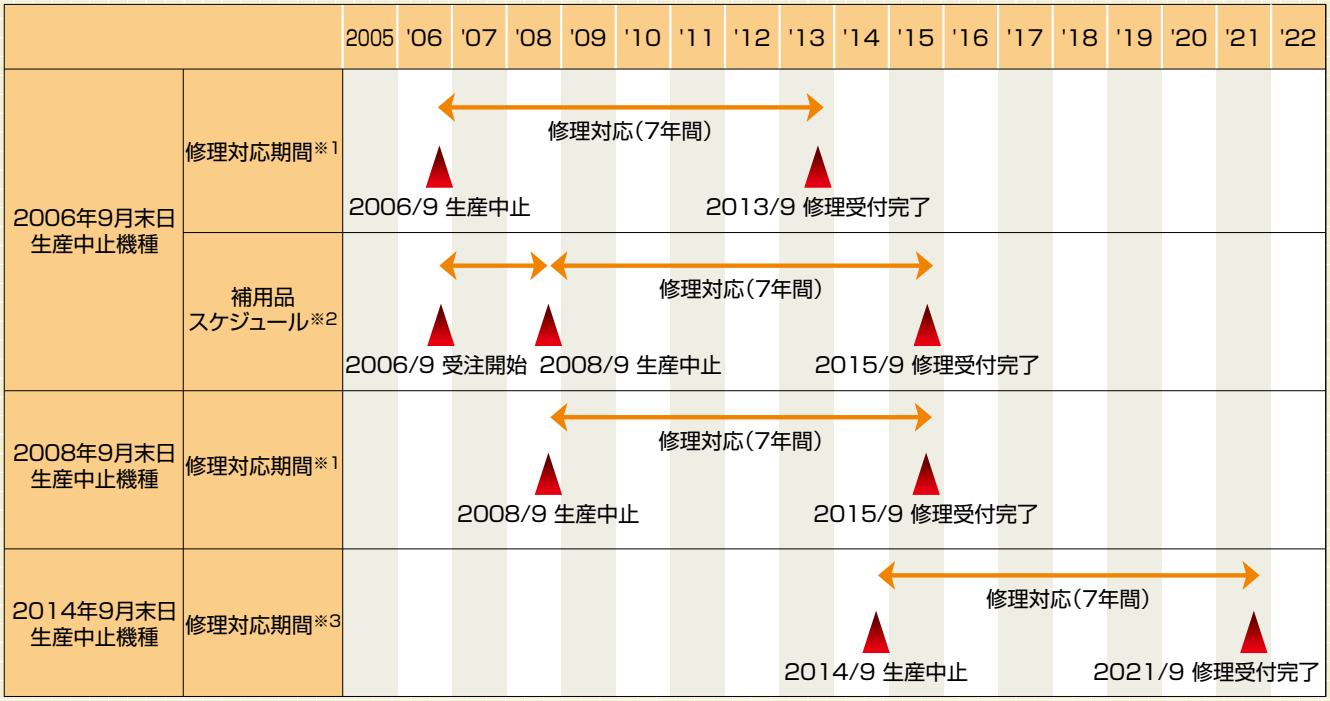
生産中止機種

生産中止機種		生産中止時期
A(大形)シリーズ QnA(大形)シリーズ	●CPUユニット ●入出力ユニット ●特殊機能ユニット ●データリンクユニット(MELSECNET(Ⅱ)、/Bユニットなど) ●MELSECNET/MINI-S3マスタユニット ●MELSEC-I/OLINKマスタユニット	2006年9月末日
	●MELSECNET/10ネットワークユニット	2014年9月末日
A2Cシリーズ	●CPUユニット	2006年9月末日
	●A2C I/Oユニット ●特殊機能ユニットほか	2008年9月末日
パソコン用ボード	●MELSECNET(Ⅱ)、MELSECNET/Bインタフェースボード	2008年9月末日
A0J2(H)シリーズ	●CPUユニット ●電源ユニット ●入出力ユニット ●特殊機能ユニットほか	2008年9月末日
リモートI/Oユニット	●MELSECNET/MINI-S3入出力ユニット	2008年9月末日
	●MELSEC-I/OLINK入出力ユニット	2014年9月末日

※AnS/QnASシリーズにつきましても、2014年9月末日にて生産中止しております。

機種一覧

修理対応期間



※1: 生産中止製品の修理対応期間につきましては、テクニカルニュース(FA-D-0049)をご参照ください。
※2: 2006年9月末日生産中止機種につきましては、一部の機種(テクニカルニュースNo.506参照)を補用品として生産を延長いたしておりましたが、2008年9月末日にて生産中止とさせていただきましたのでご了承願います。
※3: 生産中止製品の修理対応期間につきましては、テクニカルニュース(FA-D-0141、FA-D-0142)をご参照ください。

Adobe、Adobe Readerは、米国および他の国々で登録されたAdobeの登録商標です。
Microsoft、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
その他、本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

サポート体制

さまざまなカタチで置換えのサポートを実施いたします!

インターネットサービス

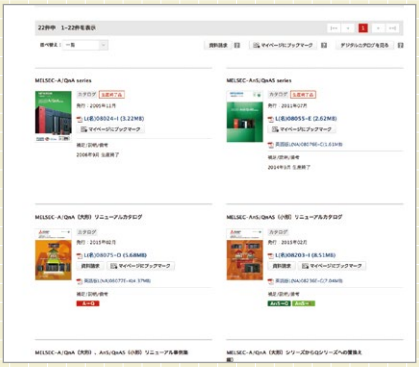
Qシリーズへの置換えサポートツールの情報、ほか
三菱電機FA機器のあらゆる情報を知り尽くすデータベース

テクニカルニュースや置換えの手引きなど、
Qシリーズへの置換えサポートツールの情報が手軽に入手できます。

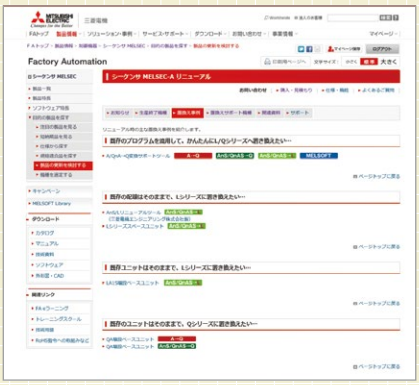
三菱電機FAサイト
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

[FAトップ] > [製品情報] > [制御機器] > [シーケンサ MELSEC]

[FAトップ] > [ダウンロード] >
[MELSEC-A] > [カタログ]



[FAトップ] > [製品情報] > [制御機器] >
[シーケンサ MELSEC] >
[目的の製品を探す] > [製品の更新を検討する]



●置換えの手引き、カタログ、事例集に示す製品の置換えに際しましては、該当製品のマニュアルを参照いただき、詳細仕様、使用上の注意事項・制約などを確認の上、置換えを実施いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機エンジニアリング株式会社製品、および三菱電機システムサービス株式会社製品につきましては、各製品のカタログなどを参照いただき、詳細仕様、使用上の注意事項・制約などを確認の上、使用していただきますようお願いいたします。
弊社製品、三菱電機エンジニアリング株式会社製品、三菱電機システムサービス株式会社製品のマニュアル、カタログは、各「置換えの手引き」の付録に紹介しています。

●本資料に記載している製品につきましては、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

ご採用に際してのご注意

この資料は、製品の代表的な特長機能を説明した資料です。使用上の制約事項、ユニットの組合せによる制約事項などが全て記載されているわけではありません。ご採用にあたりましては、必ず製品のマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。
当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

⚠ 安全にお使いいただくために

●このカタログに記載された製品を正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ず「マニュアル」をお読みください。
●この製品は一般工業などを対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
●この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご照会ください。
●この製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、この製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能をシステム的に設置してください。

三菱電機 汎用 シーケンサ MELSEC-A/QnA(大形) リニューアルカタログ

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問合せは下記へどうぞ

本社機器営業部…〒110-0016 東京都台東区台東1-30-7(秋葉原アイマークビル)…(03)5812-1450
北海道支社…〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル)…(011)212-3794
東北支社…〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20(花京院スクエア)…(022)216-4546
関越支社…〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル)…(048)600-5835
新潟支店…〒950-8504 新潟市中央区東大通1-4-1(マルタケビル4F)…(025)241-7227
神奈川支社…〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)…(045)224-2624
北陸支社…〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)…(076)233-5502
中部支社…〒450-6423 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビルヂング)…(052)565-3314
豊田支店…〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)…(0565)34-4112
関西支社…〒530-8206 大阪市北区大深町4-20(グランフロント大阪 タワーA)…(06)6486-4122
中国支社…〒730-8657 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)…(082)248-5348
四国支社…〒760-8654 高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)…(087)825-0055
九州支社…〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)…(092)721-2247

三菱電機 FA 検索
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

電話技術相談窓口 受付時間※1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種			電話番号	自動窓口案内選択番号※7
自動窓口案内			052-712-2444	—
エッジコンピューティング製品		産業用PC MELIPC	052-712-2370※2	8
		Edgecross対応ソフトウェア(NC Machine Tool Optimizerなどの NC関連製品を除く)		
シーケンサ	MELSEC iQ-R/Q/Lシーケンサ(CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)		052-711-5111	2⇒2
	MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般		052-725-2271※3	2⇒1
	ネットワークユニット(CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)		052-712-2578	2⇒3
	MELSOFTシーケンサエンジニアリングソフトウェア	MELSOFT GXシリーズ(MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnS)	052-711-0037	2⇒2
	MELSOFT統合エンジニアリング環境	MELSOFT Navigator/MELSOFT Update Manager	052-799-3591※2	2⇒6
	iQ Sensor Solution			
	MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370※2	2⇒4
	MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど		
	C言語コントローラ/C言語インテリジェント機能ユニット			
	MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット/高速データコミュニケーションユニット/OPC UAサーバユニット		052-799-3592※2	2⇒5
	システムレコーダ			
	MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	プロセスCPU/二重化機能SIL2プロセスCPU(MELSEC iQ-Rシリーズ)	052-712-2830※2※3	2⇒7
		プロセスCPU/二重化CPU(MELSEC-Qシリーズ)		
		MELSOFT PXシリーズ		
	MELSEC Safety	安全シーケンサ(MELSEC iQ-R/QSシリーズ)	052-712-3079※2※3	2⇒8
		安全コントローラ(MELSEC-WSシリーズ)		
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	QEシリーズ/REシリーズ	052-719-4557※2※3	2⇒9
FAセンサ MELSENSOR		レーザ変位センサ	052-799-9495※2	6
		ビジョンセンサ		
		コードリーダ		
表示器 GOT		GOT2000/1000シリーズ	052-712-2417	4⇒1
		MELSOFT GTシリーズ		4⇒2

対象機種		電話番号	自動窓口案内選択番号※7
SCADA GENESIS64™/MC Works64		052-712-2962※2※6	—
サーボ/位置決めユニット/モーションユニット/シンプルモーションユニット/モーションコントローラ/センシングユニット/組込み型サーボシステムコントローラ	MELSERVOシリーズ	052-712-6607	1⇒2
	位置決めユニット(MELSEC iQ-R/Q/Lシリーズ)		1⇒2
	モーションユニット(MELSEC iQ-R/iQ-Fシリーズ)		1⇒1
	モーションソフトウェア		1⇒1
	シンプルモーションユニット(MELSEC iQ-R/iQ-F/Q/Lシリーズ)		1⇒2
	モーションCPU(MELSEC iQ-R/Qシリーズ)		1⇒1
	センシングユニット(MR-MTシリーズ)		1⇒2
	シンプルモーションボード/ポジションボード		1⇒2
	MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ/EMシリーズ		1⇒2
センサレスサーボ	FR-E700EX/MM-GKR	052-722-2182	3
インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182	
三相モータ	三相モータ225フレーム以下	0536-25-0900※2※4	—
産業用ロボット	MELFAシリーズ	052-721-0100	5
電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ		052-712-5430※5	—
データ収集アナライザ	MELQIC IU1/IU2シリーズ	052-712-5440※5	—
低圧開閉器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	052-719-4170	7⇒2
	US-Nシリーズ		
低圧遮断器	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器(ACB)など	052-719-4559	7⇒1
電力管理用計器	電力量計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556	7⇒3
省エネ支援機器	EcoServer/E-Energy/検針システム/エネルギー計測ユニット/B/NETなど	052-719-4557※2※3	7⇒4
小容量UPS(5kVA以下)	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	052-799-9489※2※6	7⇒5

お問合せの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。
※1:春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2:土曜・日曜・祝日を除く ※3:金曜は17:00まで ※4:月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
※5:受付時間9:00～17:00(土曜・日曜・祝日・当社休日を除く) ※6:月曜～金曜の9:00～17:00
※7:選択番号の入力は、自動窓口案内冒頭のお客様相談内容に関する代理店、商社への提供可否確認の回答後にお願いいたします。

L(名)08075-R 2111(IP)

この印刷物は、2021年11月の発行です。なお、この印刷物に掲載した内容は、改善のために予告なく変更する場合がありますので、ご採用の節には、事前に弊社までお問い合わせください。

2021年11月作成